



The R&A  
St Andrews, Fife  
Scotland KY16 9JD

Tel: +44 (0) 1334 460000  
Fax: +44 (0) 1334 460152

www.randa.org  
www.opengolf.com

2016年10月16日

クラブ製造業者宛

## パターを除くクラブの最大長の変更案

2014年12月17日に、R&AとUSGAは「現在関心のある分野」の告知にて、R&AとUSGAがクラブの長さについての調査・研究を開始したことをクラブ製造業者に通知しました。さまざまな手腕のプレーヤーたちによって使用されているドライバークラブの定量化をさらに行っていくことに加え、この研究では現在使用されている典型的なクラブの長さを超える長さのクラブの潜在的な影響を調査し、現行の「パターを除き最大長 48 インチ」という規定が依然として適切なものであるかどうかを考察しました。

世界中のプロフェッショナルゴルファー（600人を超えるプレーヤー）とレクリエーショナルゴルファー（400人ほどのプレーヤー）の両方から今日までに収集されたデータに基づき、私たちはどのレベルでもごく一部（プロフェッショナルゴルファーの1.1%、レクリエーショナルゴルファーの2.1%）のゴルファーが現在46.5インチを超える長さのドライバーを使用していると判断しました。さらに、私たちの研究ではドライバーの長さを46.5インチから現行の制限値の48インチに伸ばすと6ヤードほど飛距離が伸びる結果となり得るということを明示しています。

原則の共同声明では、「最高レベルでのさらなる飛距離の著しい増加は望ましくない」と述べています。この原則に沿って、私たちは現行のクラブの最大許容長（パターを除く）を減じて、プレーヤーたちが今後より長いクラブに移行する可能性を排除することはゴルフの最大の利益のためであると考えます。

したがって、2011年11月に採択された用具規則制定手続きにしたがって、R&AとUSGAはゴルフ規則付属規則II, 1cに規定されているクラブの最大長（パターを除く）を、現行の最大長48インチから46インチに減じる提案を行います。グリップデザインの多様性を考慮し、この測定については0.5インチの公差が伴うこととなります。この測定は引き続きゴルフ規則（付属規則II, 1c）で説明されているプロトコルを用いて行われます。

加えて、このガイドラインはプレーヤーが最大許容長を超えるクラブを使用する医療上あるいは身体的な必要性についての証拠があり、そのプレーヤーによって持ち運ばれる最も短いクラブと最も長いクラブ（パターを除く）との長さの差が10インチ未満であることを条件として、現場の委員会が最大許容長を超えるクラブの使用を認める権限を引き続き有効とすることとなります。

あなたが提供したいと考える文書によるコメント、質問、データ、あるいはその他の情報は Dr Steve Otto（The R&A, 6 Pilmour Links, St Andrews, Fife, KY16 9JG）あるいは email: [steveotto@randa.org](mailto:steveotto@randa.org)）宛に2017年1月20日までにお寄せください。なお、コメントは必ず別紙に記入して返信するようにしてください。

**DR STEVE OTTO**  
Director - Research and Testing